

nouvelle Fontaine

発行日 2025年7月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

https://jisen.jp

ホフマン窯 岸和田煉瓦のルーツを探る

大阪府ヘリテージマネージャー 山岡 邦章



米田誠士氏提供、故：松田玉信氏撮影



岸和田市提供写真

岸和田市HPより
<https://www.city.kishiwada.osaka.jp/soshiki/70/kosyasin-bunnkazai-4.html>

今回の巡見のテーマは、ホフマン窯です。
ホフマン窯とは、大きな四角形、円形もしくは楕円形の窯を造ることにより、焼成室が順次移動するため、一つの窯で窯詰め、焼成、搬出と連続して火を絶やすことなく作業が行え、連続焼成＝大量生産ができるようにした画期的な構造の窯のことです。ドイツ人のフリードリッヒ・ホフマン（Friedrich Hoffman）が1858年頃に考案して、やがて改良型が日本各地に普及しました。

では、なぜホフマン窯なのでしょう。写真は、まだ埋め立てられていない頃の岸和田の浜辺です。昭和初期の写真でしょうか。明治時代からのホフマン窯や紡績工場の煉瓦製煙突が林立しています。今では面影は全くありませんが、明治時代、岸和田の浜には岸和田煉瓦株式会社や大阪窯業株式会社の巨大な「ホフマン窯」が数多く築かれ、一大窯業地帯を形成していたのです。話には聞いたことがある方もいらっしゃると思いますが、ほとんどの方は実際の窯を見たことが無いと思います。

現在、日本国内には4基のホフマン窯が現存し、栃木県野木市の旧下野煉化製造会社、埼玉県深谷市の旧日本煉瓦製造のものが国の重要文化財に指定され、京都府舞鶴市の旧神崎窯業と、滋賀県近江八幡市の旧中川窯業のホフマン窯が国の登録有形文化財に登録されています。この岸和田煉瓦のホフマン窯5基のうち、1基でも現在残っていたら、今の並松あたりの景色は、もっと違ったものだったのではないかと想像します。

今回、近江八幡市の旧中川窯業の窯を訪ねます。近江の地は、関西の煉瓦の技法が確認できる最も東側に位置します。直接、岸和田の煉瓦とは関連はしませんが、この数倍の大きさの窯と煙突が林立していた岸和田の景色を想像できるものと思います。また、近江八幡はウィリアム・メレル・ヴォーリズ（William Merrell Vories）の建築が多く残る街としても有名です。城下町であり、近代建築があり煉瓦の窯が残る町、近江八幡で歴史遺産を活かしたまちづくりを学びましょう。

研修旅行
～ホフマン窯 岸和田煉瓦のルーツを探る～

日程：令和7年10月13日(月・祝)

行先：近江八幡（旧中川煉瓦製作所「ホフマン窯」と城下町散策）

※詳しくはチラシをご覧ください。

去る5月17日（土）午後1時より、令和7年度定時総会を行いました。

岸和田市長佐野英利氏、岸和田市立浪切ホール館長島本真寿氏を来賓にお迎えし、出席人数30名、委任状提出会員80名で開催されました。

まず岸和田文化事業協会齊藤憲子会長より「今回は重い内容の会となります」との挨拶、続いて佐野市長より、多様化の時代における文化についてと事業協会の市への働きかけへの感謝のご祝辞をいただきました。

議事は真下豊光氏を議長に進行、令和6年度の事業報告・決算報告・監査報告を一括審議し、全て承認されました。

次は「岸和田文化事業協会 解散について」が議題となりました。真下議長より、昨年総会で会長より投げかけられた問題であり、その後の理事会での話し合いを踏まえ、総会前に各会員へ意見を問う連絡をしたとの説明後、齊藤会長より「自泉会館指定管理の次回応募を令和5年から理事会で話し合ってきたが、従来のような芸術発信がままならず参加者が激減している。また事務局・理事の世代交代が上手くいかず、応募は困難。協会の持続は、結成時の理念が今の時代にそぐわなくなり、新しい形の文化発信が始まっている。そうした若い人たちの動きに委ねていくためにも解散との考えに至った」と経緯の報告がありました。引き続き事務局より



総会当日の会員数116名、解散賛成90名、解散反対15名、無記載6名であり、賛成が77%であったことが発表され、会則第8章第31条に基づき、令和7年度をもって解散との決議がなされました。

決議の後、質疑応答となり「協会への思いが強いので反対する」「どうにかして継承していきたい」「指定管理をとらなくても続けていけるのでは？」「立ち上げた気持ちを何らかの形で残してほしい」など解散に反対する声が上がりましたが、今まで折に触れ現状を発信してきたこと、時間をかけ話し合ってきたこと、事前に全会員からいただいた返答による結果であることを、齊藤会長、真下議長より何度も説明が

あり「惜しむ気持ちは誰もが同じだが、会則に基づき運営されている会なので、この決議を覆すことはできない」との意見で、質疑応答は終了となりました。

残す議案については、令和7年度事業計画（案）予算（案）を一括審議し、拍手をもって承認されました。

最後に角野芳子副会長の「解散と決議されたが、

まだ1年活動は続きます。よろしく願いいたします」との挨拶で、総会は閉会しました。

多くの意見交換がなされ、誰もが悔しい気持ちの残る総会となりましたが、残された1年、文化を発信し続けてきた存在として最後まで理念を胸に留め、岸和田文化事業協会は活動していきます。皆様の事業へのご参加をお待ちしています。

令和7年度役員名簿

理事 20名 監事2名

役職	部 会	氏 名
会 長		齊 藤 憲 子
副会長	企 画(舞台・宣伝部門)	角 野 芳 子
副会長	企 画(展示・宣伝部門)	小 島 恵
部会長	企 画(展示・宣伝部門)	西 念 秋 夫
	企 画(展示・宣伝部門)	坂 東 重 信
部会長	企 画(舞台・宣伝部門)	池 上 尚 里
	企 画(舞台・宣伝部門)	加 藤 くみ子
	企 画(舞台・宣伝部門)	佐 々 由佳里
	企 画(舞台・宣伝部門)	白 原 理 香
	企 画(舞台・宣伝部門)	セルバンテス堺 多恵
	企 画(舞台・宣伝部門)	反 甫 進
	企 画(舞台・宣伝部門)	寺 本 郁 子
	企 画(舞台・宣伝部門)	中 村 八千代
	企 画(舞台・宣伝部門)	藤 間 勘史卯
	企 画(舞台・宣伝部門)	山 村 若代紀
部会長	広 報 (編 集 部 門)	小 末 もとえ
	広 報 (編 集 部 門)	小木曾 由 季
	広 報 (編 集 部 門)	黒 木 幸 子
部会長	広 報 (SNS宣伝部門)	大津谷 誠
	広 報 (SNS宣伝部門)	松 浪 心 込
監 事		近 江 和 代
監 事		本 郷 元 子

(各部会五十音順)

令和7年5月吉日

岸和田文化事業協会会員 各位

岸和田文化事業協会解散のご報告

万緑の候、会員の皆様におかれましては、お健やかに過ごしのことと存じます。また、日頃より当協会の活動にご協力ご参加いただき誠にありがとうございます。発足以来 20 数年の長きにわたり、「文化は市民の財産であり、市民が守り育てていくものである」という理念のもと岸和田市立自泉会館を拠点に事業を重ねてまいりました。これも会員皆様のご支援とご協力のお陰と感謝しております。

さて、表題のとおり5月17日の「令和7年度定時総会」に於いて、当協会は本年度（令和7年度）をもちまして解散する運びとなりましたことを、ここにご報告いたします。

- ・総会当日の会員数：116 名
- ・解 散 に 賛 成 ： 90 名 (77%)
- ・解 散 に 反 対 ： 15 名
- ・無 記 載 ： 6 名

※4月に会員の皆様に書面で問いかけをし、返信いただいた葉書の集計数です。

会則 第8章 第31条
「この会は、総会において会員総数の4分の3以上の決議を得て解散する」

今後は若い世代の人たちが、時代に合った文化の発信をしてくれると信じ、残る令和7年度は岸和田市立自泉会館指定管理者として、理事一同精一杯頑張ります。

末筆ではございますが、会員の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。

以上

岸和田文化事業協会
会長 齊藤憲子

一万人の第九 EXPO2025

理事(広報SNS宣伝部門)

松浪 心込

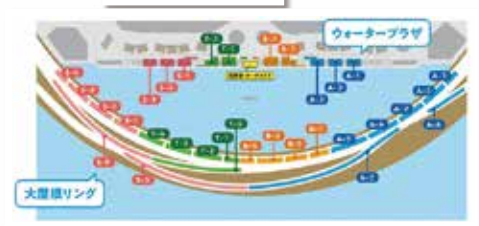
～その奇跡と軌跡～

2025年4月13日に開幕した大阪・関西万博、皆さんは、もういらっしゃいましたか？

毎日いろいろなイベントで賑わっていますが、開会初日に万博アンバサダーでもある佐渡裕氏の指揮の下、1万人の合唱団とオーケストラ、事前募集した歌声動画を合わせた大合唱が行われました。参加した方にその様子を伺いました。



バス



配置図



指揮棒は音楽を奏でるだけではない 雨雲を祓い除けることも出来るのだ

4月13日の万博開幕日は、早朝から悪天候でした。冷たい風雨に曝されながら、直前リハの休憩時間も「さすがに今日は先週みたいな奇跡は無理だな」と皆で諦めムードだったのです。

「先週みたいな奇跡」というのは、遡ること1週間前の4月6日リハーサル日のことなのですが、指揮者の佐渡裕氏が登場した途端に、ピタッと雨が止んだのです。「数々の演奏会で晴れ男伝説を作ってきただけの事はあるね」と皆で讃えていたのですが、でも流石に本番4月13日のような終日雨との予報では、諦めざるを得ない状況でした。

ところが、またしても奇跡は起きたのです。本番直前の8時58分のこと、雨が止みサーッと青空が広がったのです。

私はBassパート（B-①）に居たのですが、その後方のAltoパート（A-⑦）から歓声と拍手が起きました。その時の雨雲レーダーの画像をご覧ください。あたか

もモーゼが杖を一閃一振りした時に海が左右に割れたかの如く、万博会場上空の雨雲が東西に割れているのがお分かりでしょう。

そして、晴れ晴れとした気持ちで完奏し終えた瞬間に花火が上がった時、私はこう思いました。

今までの人生で味わった全ての苦しみや悲しみは 今日この日を迎えるための壮大な伏線だったのだ

万博アンバサダーでもある総監督佐渡裕氏の指揮の下、大屋根リング及びウォータープラザに1万人の合唱団が集合し、開幕と同時に来場者を歓喜の歌で出迎えるという世界初の試みは、かくして奇跡の大成功をおさめたのです。

この演奏の様子は、MBS毎日放送の公式YouTubeにて視聴できますので、別掲QRコードからは是非ご覧ください。



QRコード

泉州の 近代建築 vol.10

岸和田が誇る歴史。寺社仏閣や城下町はもちろん、趣ある近代建築も忘れてはなりません。その魅力や特徴を、大阪府ヘリテージマネージャーの山岡邦章氏にご紹介いただきます。

自泉会館の壁 人造品が持つ価値とは

大阪府ヘリテージマネージャー 山岡 邦章



ホール壁2層構造 上部：テックス（または木）下部：貼りウエインスコットの板貼り



現在の自泉会館ホール（南側）



エントランス トラバーチンの壁



ホール天井の梁



2階会議室前 人造大理石の床

自泉会館は、岸和田紡績株式会社の創業者、寺田甚興茂の偉業を称えるため二代目社長の寺田甚吉が、会社の倶楽部施設として昭和7年（1932）に渡辺節に依頼して設計、建築したものです。昭和18年（1943）に市に寄贈、戦後は市議会議場等として使用、商工会議所への貸与などを経て、昭和57年から文化施設として利用されています。

ここの内壁が面白いのです。ドアを入るとエントランスがあり、周辺はトラバーチンで構成された壁が印象的です。トラバーチンとは無機質石灰岩の石材で、わかりやすく言えば多孔質の大理石の一種とされます。

玄関ホールから階段付近の内壁もトラバーチンで構成されます。しかし、この付近のものは、人造トラバーチンとされているのです。要は人造大理石、今の感覚で言えば、“安物”の代表格です。これはどういうことでしょうか。

実は、昭和初期の“人造物”は当時の最先端の素材、人造の壁材を用いたものと言えば、超ハイテク製品として家主の自慢の逸品なのです。昭和初期の近代建築を見る際には今の先入観をひっくり返す必要があるのです。

ホールの壁も下はウエインスコットの板貼り、上は一見、石材またはタイル貼りのように見えるテックス貼りです。音響のためにテックスを使用したのでしょうか。このテックス、よく観察すると白、淡いクリーム、淡い青グレーの3種類の色で法則性なく構成されています。これはポリクロミーという色彩をランダム構成させ壁面全体で調和させ彩る技法で、渡辺節のにくい演出です。天井も見、木造のように見える梁は鉄筋コンクリート製、それを漆喰と塗装で木目調にしています。近寄らないとわからないレベルで一本一本、鋺(こて)仕上げで木目調に仕上げられ、戦前期の擬木として、非常に手間のかかる装飾がされています。太い木材を使った方がよっぽど安そうです。さらに見どころは二階の会議室の前。ポイントは床で人造大理石が使われています。これも当時最先端のハイテク製品です。部屋に入る前のさりげない自慢ポイントなのです。

いかがでしょうか。「ふぉんてーぬ」を片手に見慣れた壁を見つめなおしてみる。新しい発見があるかも知れません。

※ヘリテージマネージャー（地域歴史文化遺産保全活用推進員）とは、地域社会に眠る歴史文化遺産を発見し、保全し、活用して、地域づくりに活かす能力を持った人材のこと（公益社団法人日本建築士会連合会HPより）



Ichigo-Ichien

ヴァイオリンが紡ぐ物語



自泉アーティストバンク

池淵 友紀

音楽は私の人生における中心的な存在であり、ヴァイオリンはその道を導いてくれた特別なパートナーです。音楽の美しさ、またヴァイオリンの音色に魅了され、私は幼い頃からヴァイオリンと共に育ってきました。

音を奏でる喜び、お客様に聴いて頂ける喜びを知った瞬間から、日々の練習が楽しみとなり励みとなり、ヴァイオリンを通じた挑戦は技術的な側面だけでなく、精神的な成長ももたらしました。

コンクールへの参加やアンサンブルや合奏の本番では、緊張の中で自分を奮い立たせる力も学びました。本番などで悔しさを味わうこともありましたが、その中でも「最後の最後まで諦めない心」「粘り強い忍耐力」も培いました。

これからも学び続ける姿勢を忘れず、聴いてくださる方々に感動を届けられる演奏家を目指したいと思っています。また、苦しくて心が押しつぶされそうな気持ちを持っている方に「音楽やヴァイオリンでそっと寄り添える存在」「少しでも励ますことの出来る存在」でありたいと強く願っています。

ヴァイオリンを愛される幅広い世代の方々に、この楽器の魅力を伝える活動を進めていきたいです。

さて最後になりましたが「温かく豊かで心地よい響きの自泉会館」は弦楽器の音をそのまま包み込むように響く、とても素敵なホールだと感じました。

今年の秋に皆様との音楽を通じた交流を楽しみにしています。
応援よろしくお願い致します。

音楽と共に歩む道



自泉アーティストバンク

岸野 花音

私は岸和田で生まれ育ち、4歳の時に岸和田市内にあるピアノ教室でピアノを習い始めました。ご指導いただいていた先生の勧めで幼い頃からコンクールなどに参加し、音楽漬けの毎日を送ってきました。その後、高校進学を機に親元を離れ、この春からは東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻に進学いたしました。また新たな環境に身を置き、日々勉強を重ねています。

これまでの人生のほとんどを音楽に囲まれ歩んできた私ですが、ふと自分は何のために音楽をし、そして将来に対し自分が思い描く未来像は何なのか、自問自答することがあります。思いうような結果が得られなかった時、自分と同年代の方の素晴らしい演奏を目の当たりにした時など、自分の価値が見出せなくなり、正直辛いなど思ったことも何度もあります。

それでも、ピアノをやめたいと思ったことは一度もありませんでした。私の根底に心から音楽を愛する気持ちがあったからだと思います。音楽に癒され、助けられ、そして奮起させられ、何度背中を押してもらったかわかりません。

私が音楽からたくさんの勇気をもらった（もらっている）分、今度は私が創る音楽で、私にしか出せない音で、皆様にそういった力をお届けできたら、この上ない幸せだなと感じます。

私のピアノを通して、ほんの少しでも多くの方の心に何かを残し、幸せをそっと響かせられるような、そんなピアニストになりたいと思っています。これからも頑張ります！

【出演予定】

第80回自泉フレッシュコンサート

日時:令和7年10月17日(金)午後6時30分開演

会場:岸和田市立自泉会館ホール

【出演予定】

～若手アーティストによるコンサート～

HANACONCERT(ピアノ・室内楽編)

日時:令和7年8月2日(金)午後3時開演

会場:岸和田市立自泉会館ホール

Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。アンケートにご協力頂いた方の感想を紹介させていただきます。

第78回自泉フレッシュコンサート

日 時:令和7年4月12日(土)午後2時
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:47人



〈皆さんの声〉

- ◆全ての演奏が良く感動しました。
- ◆自泉会館で演奏される若者が育ってくれてうれしいです。
- ◆初めて自泉会館にきましたが、心地よい響きを感じ取ることができ、また心に残る演奏会でした。

第79回自泉フレッシュコンサート

日 時:令和7年6月20日(金)午後6時30分
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:33人



〈皆さんの声〉

- ◆大学生のフレッシュで力強い演奏もあり、今後の活躍が楽しみなコンサートでした。
- ◆若い演奏家たちの素敵なコンサートに感動しました。
- ◆ソプラノの透き通った声、メゾソプラノの重厚で伸びのある声、オーボエの美しい音色と、素晴らしい演奏を堪能しました。

第14回自泉ジュニアコンサート

日 時:令和7年7月6日(日)午後2時
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:82人

【最優秀賞】

宮坂 紗和(高校3年生) ヴァイオリン

【優秀賞】

岸本 京(小学4年生) ピアノ

【優秀賞】

辻西 愛果(中学3年生) ヴァイオリン

〈皆さんの声〉

- ◆緊張を感じさせない、素晴らしい演奏でした。感動しました。
- ◆この小さな子どもたちが、いずれ素晴らしい演奏家になるのかと思うとワクワクしました。
- ◆才能と沢山の努力で、今日の素敵な演奏ができあがったんですね。聴かせてくださりありがとうございました。



お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務所までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる、当協会主催の事業がたくさんあるなど、ご希望に添えない場合がございます。ご了承ください。
※自泉会館をご利用の際は、咳エチケットにご協力ください。

岸和田文化事業協会の事業 Information

●アートフェスin自泉

日 時:令和7年8月1日(金)～3日(日)
午前10時～午後5時
(最終日のみ午後4時まで)

会 場:岸和田市立自泉会館展示室

出展者:菅谷佳央里

井上 陽太

松田 悠矢

熊取 榎鈴

入場無料



●～若手アーティストによるコンサート～

HANA Concert(ピアノ・室内楽編)

日 時:令和7年8月2日(土)午後3時開演

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:竹村 七音 (ピアノ)

岸野 花音 (ピアノ)

千田 陶子 (室内楽 ヴァイオリン)

姫野 南果 (室内楽 オーボエ)

片岡 鈴 (室内楽 ピアノ)

チケット:前売2,000円(当日500円増)

定 員:80名



●～若手アーティストによるコンサート～

HANA Concert (ピアノ・声楽編)

日 時:令和7年8月3日(日)午後2時開演

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:安江陽奈子 (ソプラノ)

安江 優花 (ソプラノ)

中地 莉子 (ピアノ)

チケット:前売2,000円(当日500円増)

定 員:80名



●第80回自泉フレッシュコンサート

日 時:令和7年10月17日(金)午後6時30分開演

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:立山 義紀 (ピアノ)

池淵 友紀 (ヴァイオリン)

千田 陶子 (ヴァイオリン)

チケット:会員前売1,000円(当日200円増)

一般前売1,200円(当日200円増)

定 員:60名



●南里沙 コンサート in 自泉

～クロマチックハーモニカで辿る昭和100年～

日 時:令和7年9月23日(火・祝)午後2時開演

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:南 里沙 (クロマチックハーモニカ)

土井 亮 (ピアノ)

チケット:前売2,000円(当日500円増)

定 員:80名



●室内楽の午後 ～四つの音色、ひとつの心～

日 時:令和7年10月26日(日)午後2時開演

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:古関 奏絵 (ヴァイオリン)

山本 紗帆 (ヴィオラ)

伊石 昂平 (チェロ)

原 由莉子 (ピアノ)

チケット:前売2,000円(当日500円増)

定 員:80名

チケット販売日:8月5日(火)10時より



●研修旅行

～ホフマン窯 岸和田煉瓦のルーツを探る～

日 時:令和7年10月13日(月・祝)

行 先:近江八幡

参加費:会員 5,000円

一般 6,000円(1,000円は半年分の会費)

定 員:40名

申込受付:8月8日(金)10時より

■チケット販売場所

岸和田市立自泉会館事務所

■申し込み・問い合わせ

岸和田文化事業協会事務局まで

〒596-0073 岸和田市岸城町 5-10 岸和田市立自泉会館

TEL/FAX 072-437-3801

E-mail fontaine@sensyu.ne.jp

※事業の詳細・チラシは、岸和田文化事業協会ホームページにも掲載しています。

ご 報 告

岸和田文化事業協会は、本年度(令和7年度)をもちまして解散する運びとなりました。

本誌ぬーべる ふぉんてーぬは「10月25日」「令和7年1月25日」の残すところ2回の発行となります。

最後までお読みいただけることを願います。

nouvelle
Fontaine

vol.87

発行:岸和田文化事業協会

発行日:2025年7月25日

◆事務局

〒596-0073

岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員

小末もとえ・小末曾由季・黒木幸子

協力 近江和代・本郷元子

編集後記...

酷暑日や昭和は遠くなりにはけり...と言いたい夏がやってきました。今年は昭和100年。過ぎた時間も未来へ続く時間も、大切にしていきたいですね。まずは健康第一!熱中症にはくれぐれもご注意ください。(小 末)



<https://jisen.jp>

岸和田文化事業協会

検索

